

## 有害プランクトン情報 R8-1号 第12報

## 赤潮警報

(伊万里湾)

令和8年6月18日

佐賀県玄海水産振興センター

伊万里湾でカレニア ミキモトイとシャットネラ属が  
確認されています。

6月18日の伊万里湾での調査において、有害種であるカレニアミキモトイとシャットネラ属が確認されています。**カレニアの最高細胞密度は 波多津 (B-1m : 7.1m) の 556 細胞/mL**でした。

カレニア ミキモトイとシャットネラ属は、魚貝類に被害を与えます。今後の天候・海況によっては、さらに増殖する可能性もあります。養殖業者等におかれましては、海水の着色や養殖魚介類の状況に注意し、以下の対策を検討してください。

☐ <b>貝類</b> 養殖・蓄養	巻貝	警報	・餌止め (アワビ) ・貝掃除等の作業の停止
	二枚貝	注意報	・移動の準備と実行 ・早期出荷
☐ <b>魚類</b> 養殖・蓄養		注意報	・喰わせ込みの停止 ・早期出荷 ・生け簀移動・網丈延長の準備と実行 ・淡水浴、薬浴、歯切り等の作業の停止

着色域は風や潮流により移動します。

養殖魚介類の状況には十分ご注意ください。

## 【留意点】

- ・カレニア ミキモトイは魚貝類のへい死を引き起こす非常に有害なプランクトンです。
- ・カレニア ミキモトイは海面が着色していなくても、中底層に赤潮を形成していることがあります。

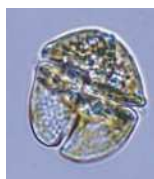
**特に、アワビ、サザエ等では、海面が着色する前にへい死する可能性があります。**

## カレニア ミキモトイ の注意・警戒密度の目安

## 【対象：巻貝】

注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：50 細胞数/mL



## 【対象：魚類・二枚貝】

注意基準：100 細胞数/mL

警戒基準：1,000 細胞数/mL

カレニア ミキモトイ

## シャットネラ属 の注意・警戒密度の目安

## 【対象：魚類】

注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：100 細胞数/mL



シャットネラ属

■ 次のページに、調査地点ごとの細胞密度を示しています。

## 有害プランクトン情報 R8-1号 第12報

## 赤潮警報

(伊万里湾)

調査年月日：令和8年6月18日

採水時間：9時36分～11時20分

□ プランクトン細胞数

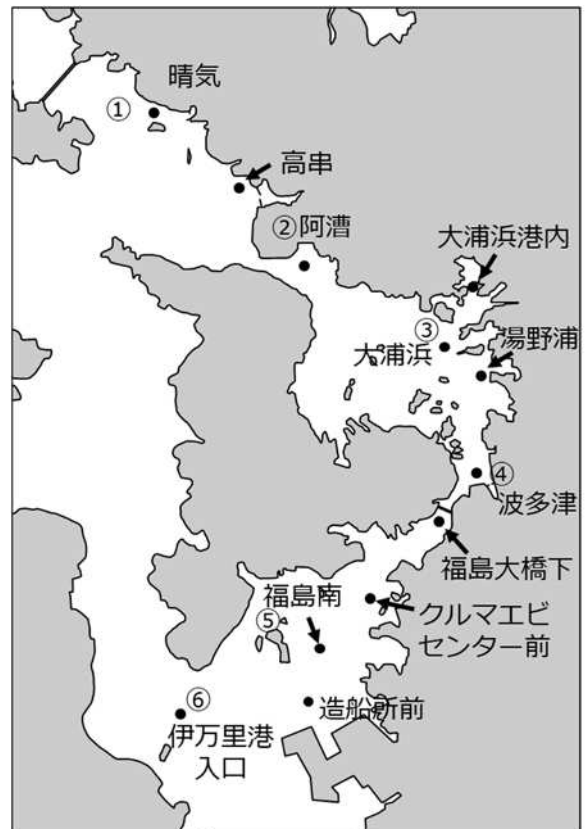
※ (細胞/ml)

地点名	採水層 (m)	カレニア ミキモトイ	シャット ネラ属	マルガレ フィディニ ウム属	珪藻類
① 晴気 (水深 21.7 m)	0	14	0	0	446
	5	12	2	0	370
	10	12	0	0	248
	B-1	20	2	0	158
② 阿漕 (水深 18.6 m)	0	22	2	0	358
	5	10	2	0	332
	10	48	0	0	208
	B-1	12	0	0	148
③ 大浦浜 (水深 12.2 m)	0	6	2	0	372
	5	12	0	0	304
	10	366	4	0	280
	B-1	308	0	0	316
④ 波多津 (水深 8.1 m)	0	10	0	0	880
	5	160	8	0	720
	B-1	556	8	0	330
⑤ 福島南 (水深 11.3 m)	0	2	0	0	1,290
	5	12	2	0	1,110
	10	92	2	0	170
	B-1	50	2	0	410
⑥ 伊万里港 入口 (水深 13.3 m)	0	2	0	0	780
	5	0	2	0	750
	10	46	0	0	80
	B-1	60	0	0	110

※ (細胞/ml)

地点名	採水層 (m)	カレニア ミキモトイ	シャット ネラ属	マルガレ フィディニ ウム属	珪藻類
高串 (水深 14.5 m)	0	18	0	0	744
	5	8	4	0	542
大浦浜港内 (水深 6.8 m)	0	12	0	0	526
	5	28	4	0	422
湯野浦 (水深 9.6 m)	0	4	2	0	460
	8	68	0	0	282
福島大橋下 (水深 7.2 m)	0	6	0	0	170
	5	270	8	0	290
クルマエビ センター前 (水深 8.3 m)	0	2	0	0	1,640
	6	88	8	0	470
造船所前 (水深 15.9 m)	0	3	0	0	1,220
	12	26	0	0	100

□ 調査地点図



※ 現在、「マルガレフィディニウム属」に名称変更されていますが、本情報では変更前の「コクロディニウム属」で表記しています。

次回の調査は 6月22日 (月) の予定です。